

名家連ニュース

令和3年12月21日(火)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.842号

◆ 令和3年度12月家族SST講座 報告 ◆

今年最後の家族SST講座が、12月18日(土)名古屋市北区総合福祉会館7階中会議室で開催されました。愛家連の行事と重なった為かいつもより少なめで、吉田先生の他11人の参加者でした。ちょうど話しやすい人数だったなと思いました。初めて参加された方は1人でした。

開始前にSSTの3原則(批判しない、話したくない時はパス、ここで話したことは他で話さない。)を確認した後、季節柄クリスマスに欲しいプレゼントと共に簡単な自己紹介で開始。「年末くじの当たり券が欲しい。」との吉田先生に続き、「もっと具体的なお金!」「若さ!」「10代の時の頭と体力!」「ハワイ旅行券!」、中には「孫」なんて声も…。



ついで、吉田先生が3回目の参加となった方にその後の様子を聞かれました。

娘さんの症状は特に変わらないが、次々にいろんな出来事が起こりその対応にどう対処したら良いか悩むとのお話がありました。いろいろ勉強されているお父さんから、ネガティブ・ケイパビリティ Negative capability (「答えのない事態に耐える力。事実や理由を性急に求めず、不確かさや不思議さ、懐疑の中にいられる力」を意味する。)という言葉が出されました。吉田先生も初めて聞いた言葉だそうです。人は、性急に答えを出してすっきりしようとしがちですが、すぐに答えを出して解決できないことの方が圧倒的に多いのが現実です。今、とても重要な言葉ではないかと印象に強く残りました。

又、娘さんの妄想に疲弊されているお母さんに対して、お母さんが①頑張っているところは?②一番困っている事は何か?③こうなるといいなと思っている事は?と整理しつつ、娘さんが落ち着いている時に思いを傾聴する、家族の一員として大事な存在だという父母の思いが伝えられているか等々意見交流をしました。今回初めて参加された方は、当事者が弟さんという方でグループホームの現状等を話して頂きました。

最後に参加者の一言感想で、「今日は参加してよかった。」「参考になった。」の声が聞かれました。今後も参加者の話したい事、悩んでいる事を優先しながら充実した会運営に努めていきたいと思えます。(担当 熊谷)